

ペガサス社 ポートフォリオタイプのご紹介

Conservative 保守型

リスク回避的で投資元本の保全を重視する投資家向け

- 【詳細】
- 安定したリターンを求める一方で、比較的低いリスク許容度を持つ投資家向けに設計されています。
 - このポートフォリオは、資産配分においてよりバランスのとれたアプローチをとっており、一定の資金を株式に投資する一方で、積極型や成長型タイプに比べて、債券やマネー・マーケット・ファンドに比較的多くの投資配分をしています。
 - 分散性が高いため、積極型や成長型タイプに比べて、変動の激しい市場ではより持ちこたえることができますが、市場が好調に推移する場合には、積極型や成長型タイプのパフォーマンスよりも下回る可能性があります。
 - 比較的リスク許容度の低い投資家向けに設計されているため、株式への投資比率は最大でも60%を超えないようになっています。

Growth 成長型

中程度のリスクを許容する投資家向け

- 【詳細】
- 比較的広範囲に投資することで、持続的かつ市場を上回る資本成長を目指すタイプです。
 - このポートフォリオは、2つの部分で構成されています。1つは、投資魅力度が高い株式ファンドに投資して期待収益を上回るリターンを狙う部分、もう1つは、リスクを抑えつつ持続的なリターンが期待できる市場に投資する部分です。
 - また、積極型タイプとは異なり、このタイプは潜在的な価格変動を下げることを目的としているため、値動きが大きい市場への投資比率は低めで、債券(比較的安定したファンド)への投資比率を高めに設定されています。
 - 中程度のリスク許容度を持つ投資家向けに設計されており、債券資産への投資比率は最大でも25%を超えないようになっています。

Aggressive 積極型

大きな収益を求めるため、
投資に関する高レベルのリスクを取る必要があることを理解する投資家向け

- 【詳細】
- このポートフォリオタイプは、3つのタイプのうち一番、投資先ファンド種類を抑えて集中的に投資することで、高い資本成長と市場を上回るリターンを得ることを目指します。
 - このポートフォリオは、2つの部分で構成されています。1つは、投資魅力度が高い株式ファンドに投資して期待収益を上回るリターンを狙う部分、もう1つは、リスクを抑えつつ持続的なリターンが期待できる市場に投資する部分です。
 - 3つのタイプのうち一番高いリスクをとることで、標準的な成長型タイプの実績を上回ることを目的としています。そのため、この投資配分は、より株式ファンドに傾倒しており、単一国のファンドや新興セクターファンドに投資することもあります。
 - 比較的リスク許容度の高い投資家向けに設計されているため、債券資産の比率は最大でも10%を超えないようになっています。

- 全てのポートフォリオタイプは、ペガサス社独自のリサーチに基づいて投資先・配分を決定しています。全てのポートフォリオは、常時内容が見直され、必要に応じて保有バランスの調整が行われます。
- 将来、ポートフォリオタイプの変更可能です。別途手続が必要になります。

【参考】ポートフォリオ別運用利回り

タイプ	目標利回り	2021年1月1日～5月25日運用結果		
		スタンダードライフ社	FTライフ社	
Conservative 保守型	3年間を目安に、3カ月LIBOR(ロンドン銀行間取引金利)+5%のリターンを目指しています。	2.32%	0.86%	ペガサス社による、他の商品の運用実績値を参照しています。
Growth 成長型	中期(5年間)に亘りベンチマークよりも2～3%高いリターンを目指しています。	3.61%	3.89%	ペガサス社による、運用実績値です。
Aggressive 積極型	中期(5年間)に亘りベンチマークよりも5%高いリターンを目指しています。	11.34%	10.71%	ペガサス社の運用方針に基づいてファンドを選択・運用した場合の推定利回りで、実績値ではありません。

- ※ベンチマーク: 運用実績を測るための比較基準指数で、MSCI世界指数80%+MSCI新興市場指数20%の構成。
- ※上記数値は参考であり、お客様の実際の運用結果は投資日や商品手数料、およびマネジメント費によって異なります。
- ※これら数値は、今後の利回りをお約束するものではありません。